

高陽東高等学校 特色ある授業「世界事情」 今回のテーマ「ユニセフの活動とわたしたち」

令和2年9月30日(水) 3・4限 実施

講師：広島県ユニセフ協会

事務局長 高田 和美 先生

今回は、世界の子どもたちの命と健康と未来を守るために活動している国連機関ユニセフ(unicef)の活動について講義をしていただきました。

募金活動をしているイメージが強かったようですが、スラ

イド・映像・支援物資・展示パネルを用いて、丁寧に分かりやすくユニセフの活動を説明していただき、活動の詳細を知ることができました。



授業の様子



支援物資など

講義のあと、グループに分かれて、いま世界にどんな問題があるのか洗い出し、2015年に世界の目標になった17の「持続可能な開発目標(SGDs)」を確認して、出した諸問題を分類し、どう

すれば解決できるのかを話し合いました。このような学習活動によって、高校生の自分たちにできることは何だろうかということを真剣に考えることができ、有意義な学習になりました。

講義において世界の子どもたちのおかれている厳しい現状を知ること、希望ある未来を迎えるためには、子どもたちが生まれ持った可能性を十分伸ばして、健やかに成長することの重要性をより深く理解することができました。

講師の高田先生、ボランティアの平田様、誠にありがとうございました。

科目「世界事情」の紹介

本校では3年次生を対象に「世界事情」という学校独自の選択科目を開講しています。この科目の目的は、第一に世界の様々な国々に関わる諸団体の活動について、本校職員による授業だけでなく外部講師を招いての授業によって、世界の現状についての知見を深め、諸問題の原因及び解決方法について探究したり、外国の文化・風土について学習したりすることです。